

平成 22 年度

第 2 回

ウェブデザイン技能検定

2 級

実技試験概要

試験にあたっての注意事項

試験者は本試験の留意事項・注意事項に留意して作業を行うこと。

試験者は課題 1 から 4 までの 4 課題を必須とし、課題 5a, 課題 5b より 1 課題を選択し合計 5 課題を 120 分間で行うこと。

試験問題の詳細は、試験当日配布する。

試験実施にむけての留意事項

試験は、PCを利用して実施される。課題で利用する素材は、実技試験実施の際に配布される。課題は適切なフォルダ(ディレクトリ)に保存を行うこと。作成するデータやページのファイルは2バイト文字は使用せず、半角英字のみとして、スペースなどをいれずに作成すること。またファイルのデータ形式、拡張子等にも留意すること。保存先は問題で作成を指示されたフォルダを作成し保存すること。問題で規定された以外のデータは一切、採点の対象とならない。

本試験では、ハイパテキストタグ付け言語 (HTML) については JIS X 4156:2000 (ISO/IEC15445:2000) および W3C(ワールドワイドウェブコンソーシアム)HTML4.01 を推奨し、拡張可能なハイパテキストマーク付け言語 (XHTML) はW3C XHTML 1.0 以降を推奨する。段階スタイルシート (CSS) については JIS X4168:2004 および W3C CSS level1 以降を推奨する。

問題文の中でHTMLファイルとある場合はHTML/XHTMLどちらを選んでもよい。
また、作成するHTMLファイルの文字コードはUTF-8にすること。

<試験用 PC>

試験に利用する PC は Windows XPSP2 以降、または Windows VISTA、Windows 7 がインストールされている。利用する PC には、キーボードおよびマウスが備えられている。

<アプリケーション>

試験用 PC には、以下のウェブコンテンツ作成用ソフトウェアがインストールされている。以下のソフト以外は試験では、利用する事は出来ない。

○画像処理ソフトウェア

Adobe Photoshop、Adobe (Macromedia) FireWorks

○ウェブエディタおよびウェブコンテンツ作成ソフトウェア

Adobe (Macromedia) DreamWeaver、Adobe (Macromedia) Flash

○テキストエディタなどのソフトウェア

サクラエディタ、TeraPad

上記ソフトウェアについては、標準設定でインストールを行なっている。また、Windows 標準のアクセサリ、ワードパッド、メモ帳等が利用可能である。特に監督者からの指示・説明がない場合、上記ソフトウェアを利用することができる。なお、監督者は以上のソフトウェア使用法に関わる質問に対する回答、操作補助は行わない。また Adobe Photoshop、Fireworks、DreamWeaver、Flash は原則 CS4として
いるが、試験会場により、CS、CS2、CS3、CS5、STUDIO8の場合がある。

<ブラウザ>

本試験では以下を指定ブラウザとする。

- Microsoft Internet Explorer 6SP2 以降、Mozilla Firefox 3.0 以降の安定版
ただし Microsoft Internet Explorer は 7 または 8 の場合がある。

課題 1: ウェブサイト構築: 2) 画像の作成・加工と利用

仕様に従って、ナビゲーションシステム用のパーツ画像をデザインし作成すること。
設定された仕様の要件はすべて含まれなければならないが、指定以外の要素については任意とする。

- ・ファイル形式
- ・ファイルサイズ(幅×高さ)
- ・解像度
- ・色数
- ・方式
- ・ナビゲーション項目
- ・バリエーション
- ・その他

課題 2: ウェブサイト構築: 3) マルチメディアデータの作成・加工と利用

仕様に従ってアニメーションを作成すること。アニメーションファイルの形式はGIF(GIF89a)形式、swf形式のいずれかで作成すること。設定された仕様の要件はすべて含まれなければならないが、指定された以外の要素については任意とする。また配布される素材ファイル指示通りに使用しなければならない。

- ・ファイルサイズ(幅×高さ)
- ・指定された素材画像を適切に利用すること
- ・配布された素材ファイルを指示どおりに利用すること
- ・指示されたアニメーション設定がなされていること
- ・指定されたファイル容量に留意して作成すること

課題 3:ウェブサイト構築: 1)ハイパテキストタグ付け言語(HTML)、拡張型ハイパテキストタグ付け言語(XHTML)、スタイルシート(CSS)によるコーディング 2)画像の作成・加工と利用 3)マルチメディアデータの作成・加工と利用、5)ページデザイン・レイアウト

仕様に従って、課題 1、2 および 3 で完成したファイルを検定指定ウェブブラウザでもれなく閲覧できるように、HTML ファイルにレイアウトすること。設定された仕様の要件はすべて含まれなければならないが、指定以外の要素については任意とする。HTML ファイルと他のソースファイルは別のフォルダに保存してもよいが、その場合は、必ずウェブブラウザで表示できるようパスの設定を行うこと。またパス設定は絶対パスを使用しないこと。

- ・ ページタイトル設定
- ・ レイアウト図に従いレイアウトをおこなうこと
- ・ アニメーションファイル配置とレイアウト
- ・ CSS によるコンテンツレイアウトと配色
- ・ ナビゲーションパーツの配置とレイアウト
- ・ 指定された機能への対応(ロールオーバーなど)

課題 4:ウェブサイト構築: 1)ハイパテキストタグ付け言語(HTML)、拡張型ハイパテキストタグ付け言語(XHTML)、スタイルシート(CSS)によるコーディング、5)ページデザイン・レイアウト
ウェブサイト運用管理: 2)更新・管理

HTMLファイルの指示されたエリアに、指定されたテキストファイルの文章を配置し更新すること。配置するテキストソースは文章にもとづいて、構造化を行うこと。

課題 5a:ウェブサイト構築: 1)ハイパテキストタグ付け言語(HTML)、拡張型ハイパテキストタグ付け言語(XHTML)、スタイルシート(CSS)によるコーディング

フォームの条件、およびHTTPリクエストインタフェース(各パラメータ)に従ってHTMLファイルを作成すること。設定された仕様の要件はすべて含まれなければならないが、指定以外の要素については任意とする。

課題 5b:ウェブサイト構築: 4)スクリプトの利用

与えられたJavascriptによるファイルを指定の要件となるように編集すること。